

研究支援部会報告

藤田 尚

新潟県立看護大学看護研究交流センター 研究支援部会

研究支援部会では、年々の予算が厳しい中で、効率よく地域課題研究を推進している。

地域課題研究とは、センターが募集する研究課題で、看護科学における教育と研究の成果を地域に還元し、県内の保険・医療・福祉の質の向上に貢献することを目的とするため、以下の4分野についての研究を指している。

1. 研究課題領域

- 分野(1) 地域のヘルスケア・ニーズに関すること
- 分野(2) 地域医療システムの開発に関すること
- 分野(3) 看護職者の生涯教育のプログラム開発に関すること
- 分野(4) 大学における IT 化事業に関すること

他に、原則として、複数の研究者により構成される地域をベースとする共同研究であることが条件となっている。

このような条件で、研究公募を行った結果、平成 21 年度は、継続研究も含めて 6 題の研究が行われ、平成 22 年 6 月 14 日に報告会が行われた(以下)。

平成 21 年度の研究支援部会の活動

- 1) 新卒看護師の離職の兆候と就職希望者へのサポートに関する研究
～プリセプターのとまどいに焦点をあてて～
○大久保明子、粟生田友子、横田陽子、西方真弓、郷更織
- 2) 看護管理職の役割認識に関する研究 ー副看護師長の研修プログラムにおける
役割認識過程に焦点をあててー
○岡村典子、渡辺礼子、青木洋子
- 3) 訪問看護師が行うスキンケアの評価
ー長期臥床患者と健常者の皮膚のバリア機能による検討ー
○堀良子、水口陽子、岡村典子、水澤久恵、斉木正美、中川恵子
- 4) 最新看護技術周知のための WEB ネットワーク構築の試み
ー高齢者ケアにかかわるネットワークづくりー
○原等子、永吉雅人、角山裕美子、須藤陽子
- 5) 上越地域における災害医療支援連携システム構築のための基盤研究
深澤佳代子、山田正実、高柳智子、酒井禎子、直成洋子、飯田智恵、石岡幸恵
○小林綾子、丸山正則
- 6) 自死遺族のピアグループネットワーク構築に関する研究
ーグループ形成に向けたアクションリサーチー
○櫻井信人、粟生田友子、浦山留美、鈴木香苗、小林創

次年度以降も、地域との連携に重点を置き、多種多様で有意義な研究成果が出ることを期待されているところである。